



学校だより

横浜市立末吉小学校

令和2年度

8月号

今年の夏休み

学校長 本庄 則子



今年は梅雨らしい天気が続き、7月は過ごしやすい日が多くありました。本来なら、オリンピック・パラリンピックに日本中が湧いていたであろう、この夏。長かった臨時休業の期間を取り戻すべく、夏休み（夏季休業）は8月の約2週間と短縮されています。短い期間ですが、それぞれが充実した時間を過ごし、元気に8月17日から登校してほしいと願うばかりです。

このような中ですが、嬉しいお知らせもお届けできます。昨年度、現在5年生の中島葵碧さんが、第52回 手紙作文コンクール はがき作文部門で文部科学大臣賞を受賞しました。そして今回、鶴見区長表彰（スポーツや文化の分野において、顕著な功績や優秀な成績を収めた児童・生徒・団体におくられる）をうけることになりました。

全校が集まる朝会は実施していないため、TV放送ではありましたが、森区長に来校いただいて表彰式を行いました。受賞作品は、友だちへのお礼で、感謝の気持ちが素直に伝わる内容です。中島さん本人が読んで全校に紹介しました。

通信が便利な世の中になってきましたが、直筆の文字で伝えることができる手紙は、人の想いが最も伝わるコミュニケーションツールのひとつです。中島さんが受賞したコンクールの審査員総評には、「メールや電話に比べたら、手紙は時間も手間もかかるのは事実です。でも、その手間のかかる手紙だからこそ伝わる、やさしい思いや、行間を読む楽しさ、心地いいひと時を生むのです。普段口頭では伝えることができない気持ちを、手紙というツールを使って、これからも素直な気持ちをありのままに伝えられる人であってほしいと願っています。（抜粋）」とありました。

今年の夏は、会うことのできない大切な人に手紙を書いてみようと思っています。

